

不撓不屈

ふとうふくつ

人間形成に影響

D&I（東京都千代田区）社長の杉本大祐が障がい者の雇用や教育に深く関わるきっかけとなったのが少年時代だった。1974年生まれの杉本は福井市の出身。かつて実家は織物業を営み、工場が24時間、年350日ほど稼働していた。父や3交代で働く従業員の姿を見て育ち、「自分の人間形成に強く影響した」と振り返る。

小さな地域なので中学

D&I

②

少年時代の体験が契機

校を卒業するまで10年間で働いたが会社生活から間、38人の同じ仲間と一緒に育った。これも後にフリーターに転じた。学現美逃避したいと考え、雇用と教育を通じて障がい者が挑戦できる社会を屋チエーンのアルバイト目指すという理念づくりに採用され新店開業時に役立った。「子どもの指導役として重宝された。一緒に遊んでいた。仕事で疲れることはため誰がいても違和感があったが、杉本は「辞め全然なかった」と語る。たいと思つたことはなかくこの経験が障がい者を分けた。今でも仕事は大好きと笑う。

転職を多く経験

杉本は同社の経営に行き着く前に、多くの転職を経験している。大学卒業後は中高生の教材販売会社で約2年間営業とし

障がい者と企業をつなぐ

「もう一度、東京で勝負したい。やったことがない法人営業を学びたい」と人材派遣会社に入社。給料はフリーター時月の半分になったが、センターに要員を派遣する新規事業だった。当時の障がい者雇用は理解を示す企業が少なか



創業3年目にオフィスを移転。社員に囲まれる杉本社長（前列中央）

る大口案件を受注。幸先が良かったが、少しずつ実績が上がっていった。障がい者然、会社から派遣事業の撤退が伝えられた。

雇用人材を紹介

その後、ある事業の立て直して達成感を味わったが、グループ会社への事業譲渡が決まり転職を決意。ベンチャー企業の幹部層をヘッドハンティングするのが主事業の会社で転職。そこでゼロからかかわったのが障がい者雇用で企業に人材を紹介する。そのため杉本は同僚2人を誘って独立を決心し、2009年8月にD&Iを設立した。人材紹介事業の免許がない、お金もないという状況での門出だった。障がい者向け会社説明会を提案して回ったが、設立数カ月で早くも先行きに不安を感じていた。新たなビジネスの創出が求められた。

（敬称略）